

京都府

発行/京都府議会  
編集/京都府議会広報広聴会議

鴨沂高等学校3年生  
加納 明さんに題字を  
書いていただきました

No.49



# 議会だより



予算は適切に  
使われたのか

現地調査を  
しました



現地調査の内容は 3 面に掲載しています

1 令和4年(2022年)12月





高校生に、府議会や議員との直接の関わり合いを通じて府議会への関心を高め、議会を身近なものとするため、「出前高校生議会」を実施しました。

令和4年8月26日(金) 府立福知山高等学校



主なテーマ

- ・ジェンダー問題について
- ・まちづくり、地域活性化について

生徒の主な感想

- これまで遠い存在に思っていたが、自分たちの声が届くことを実感できた
- 直接意見交換することで、初めて政治に参加できた感じがしてうれしかった
- 投票率の話についても意見交換してみた

現地・現場で直接チェック！

1 平成30年台風21号による風倒木被害地(京都市左京区)

台風21号の暴風により風倒木被害が発生し、叡山電鉄鞍馬線が運休になるなど、地域住民の生活に大きな影響が生じた現場。風倒木の流出防止と災害に強い森林づくりを推進するため、風倒木の架線撤出や現地固定、広葉樹植栽などの復旧対策の実施状況を調査



2 京都府下鴨警察署 府立大学前交番

老朽化が進んだ旧芝本町交番を移転の上、機能強化・充実を図り、府立大学前交番として整備。コミュニティルームの活用方法、交番の安全対策などの調査や、移転して生じた課題などを聴取



3 京都府立医科大学附属病院 メディカルセンター

重症患者の割合は年々増加しており、より専門的な医療を提供する必要性が増していることから、循環器センター、脳神経センター、消化器センターを整備。各センターの整備状況を医療の現場で調査



※そのほか全17カ所において現地調査を実施

2 現地調査

書面での審査を終え、実際に事業が実施された現地に行き、府内全域で適正に予算が執行されたかを調査

3 総括質疑

書面審査・現地調査を行った内容を踏まえ、知事や教育長に対し質疑を実施



決算特別委員会総括質疑の様子

質問者

- 中村正孝(自民)
- 家元 優(自民)
- 荻原豊久(自民)
- 浜田良之(共産)
- 島田敬子(共産)
- 平井育己(府民)
- 梶原英樹(府民)
- 小鍛治義広(公明)

4 意見・提言

書面審査や総括質疑の中で出された指摘・要望事項49項目を「意見・提言」として取りまとめ、知事に対し、来年度の予算編成に反映するよう求めました。

[新型コロナウイルス感染症対策について]

新型コロナやインフルエンザに備え、関係機関と連携し、必要な医療や支援が確実に提供できる体制の強化を図るとともに、府民への情報発信などに努めること

[子育て環境日本一の推進について]

安心して子育てができる環境の整備をさらに図るため、関係機関と連携し、支援制度の充実を図るとともに、必要な支援につながるよう周知・利活用の推進に一層取り組むこと など

1 決算特別委員会 設置・書面審査

令和3年度の京都府の一般会計は約1兆3000億円。どのように使われ、どういった成果を上げたかを審査する決算特別委員会を開催しました。まずは各部局ごとに審査が行われ、各議員がその内容について質問や意見を述べました。

災害時には、あらゆる人に対応した避難所運営や情報発信に取り組み、府民の安心・安全の確保を!

新型コロナや物価高騰などの影響を踏まえ、学生・生徒の修学費用の負担軽減が必要

どの地域においても必要な医療が安心して受けられるよう、地域医療体制の充実を!



森林保全・林業の厳しい状況を踏まえ、森林経営管理制度に取り組み市町村や事業者の支援などの取り組みを!

市町村や関係機関と連携し、地域公共交通の確保・維持に努め、鉄道の複線化など、利便性の向上のための取り組みを!

昨年度のお金の使い道をチェック!



代表質問

令和4年9月15、16日に行われた代表質問の主な内容は次の通りです(質問順)



森林経営管理制度の課題と今後の展開について



石田 宗久 自民 左京区

質問映像の保存期間は1年間です

質問

本府の民有林の4割が人工林であり、その7割以上が植林後50年以上を経過し、木材としての利用価値が高い森林であると聞く。森林経営管理制度導入後の課題や今後の展開についてどうか。

答弁

集積計画を策定し間伐を進めているが、所有者の同意が得られない事例も増えており、森林集積推進員や新たな知事裁定の制度を活用するなど、手入れ不足の森林を適正に管理できるようさらに努めていく。



大学入学 共通テストについて



森口 亨 自民 京丹後市

質問

知事と教育長は、丹後地域の高校生の受験に係る負担軽減のために、関係機関に対し、令和5年度の丹後地域での大学入学共通テストの試験会場設置について申請したが、進捗状況などはいかがか。

答弁

令和5年1月の共通テストを、峰山高等学校を試験場として実施するよう、府立大学から京都府試験地区連絡会議に申し出され、現在、大学入試センターで調整されており、府としても最大限支援していく。



子育て環境日本一の推進について



小原 舞 府民 舞鶴市

質問

子育て企業サポートチームは、府内企業に対し、子育て支援制度および活動事例の周知などを実施しているが、安心して子育てできる雇用環境の創出に向けた職場づくり行動宣言の取り組みについてはどうか。

答弁

企業訪問などにより働き掛けを進めてきた結果、総合計画の目標企業数を前倒しで達成した。引き続き、時間単位の年休制度の普及などオール京都で誰もが働きやすい職場づくりを進めていく。



コロナ・原油・物価高騰対策について



馬場 紘平 共産 伏見区

質問

コロナ禍および原油・物価高騰の現状を踏まえ、現行の対策の抜本的な転換が必要である。府税の減免や徴収猶予、家賃への固定費補助など、思い切った対策を緊急に実施すべきと考えるがどうか。

答弁

固定費支援など、事業継続のベースとなる支援は国が担い、府は地域の実情に応じたきめ細かな支援を行うことが重要であると考えている。税の減免などについては、国に対して繰り返し求めてきた。



新型コロナウイルス感染症対策について



森下 由美 共産 八幡市

質問

高齢者施設や障害者施設において、陽性者が施設に留め置かれている実態があり、重症化リスクの高い高齢者や障害者が、必要な入院に確実につながるよう対策を講じるべきと考えるがどうか。

答弁

入院医療コントロールセンターで二人ひとりの状態を考慮し、入院が必要な方は入院していただいている。また、高齢者施設などで療養される患者に対して医師などによる診療が可能な体制を構築している。



一般質問（主な項目）

平井 育己 府民 北区

- ▼ 地域貢献人材の育成について
- ▼ 学力向上に向けた教育活動の充実について

藤山 裕紀子 自民 宇治市・久世郡

- ▼ 地域文化の継承について
- ▼ 女性政策について

光永 敦彦 共産 左京区

- ▼ 連続する豪雨災害対策と森林整備について
- ▼ 北山エリア整備基本計画について

井上 重典 自民 福知山市

- ▼ 府民全体が文化庁京都移転の恩恵を享受できる取組について
- ▼ 現代アートの力による地域活性化について

小鍛治 義広 公明 南区

- ▼ 視覚障害者の安全対策について
- ▼ 常時左折可能な交差点と時差式信号機の運用について

その他の項目は府議会HPをご覧ください



9月21日(水)

池田 正義 自民 舞鶴市

- ▼ 多様な職業選択を可能とする高等学校の充実・強化について
- ▼ 北部地域医療体制の充実・強化について

原田 完 共産 中京区

- ▼ 府内の米価問題と農業経営の持続性確保について
- ▼ 農業の安定的経営への支援について

磯野 勝 自民 向日市

- ▼ 京都府域展開アートプロジェクトについて
- ▼ 向日町競輪場について

山本 篤志 府民 木津川市・相楽郡

- ▼ 相楽東部の公共交通の確保と地域創生の加速について
- ▼ 関西文化学術研究都市における文化について

畑本 久仁枝 維新 西京区

- ▼ 市町村や民間と連携した少子高齢化時代のまちづくりについて
- ▼ 都市鉱山について

9月22日(木)

西脇 郁子 共産 下京区

- ▼ コロナ禍での中小事業者への支援について
- ▼ 元堀川警察署跡地の活用について

宮下 友紀子 自民 上京区

- ▼ 子育てしやすいまちの実現・環境づくりについて
- ▼ 児童虐待について

堤 淳太 府民 長岡京市・乙訓郡

- ▼ 不登校の児童・生徒への対策について
- ▼ アート&テクノロジー・ヴィレッジ構想について

田島 祥充 自民 八幡市

- ▼ 少子化対策について
- ▼ 大規模災害時の災害ボランティアについて

9月定例会から

令和4年9月12日から11月2日まで52日間の会期で、9月定例会を開催。コロナ対策のほか、原油価格や物価高騰に伴う中小企業の経営対策事業など、約457億円の補正予算を可決。そのほか意見書3件、決議1件を可決し、閉会しました。

代表質問



若年者のがん対策について

諸岡 美津 公明 右京区



質問 若年の末期がん患者家族の経済的負担を軽減し、住み慣れた自宅で過ごすことが可能となるよう、本府独自の制度を創設し、若年がん患者の在宅療養支援を行うべきと考えらるかどうか。

答弁 支援を受けられない方に対する支援制度の創設について、国に対して要望するとともに、他県で既の実施されている、若年がん患者の在宅療養に対する助成制度を参考に、検討していきたい。



地域公共交通の維持確保策について

古林 良崇 自民 京田辺市・綴喜郡



質問 国では地域交通を持続可能な形で再構築する検討会が開催されているが、今後の府の地域公共交通の維持確保について、どのように考えているのか。

答弁 検討会の提言を踏まえ、地域の実情に応じた支援制度が実現されるよう国に対して働き掛けるとともに、AIオンデマンドなどの新技術の導入促進も含め、公共交通の利便性や運行効率の向上などを図り、持続可能な地域公共交通の確保に取り組みたい。

12月定例会の日程(予定)

会期 12月5日(月)～12月23日(金)

※議会の様子は、インターネット中継でご覧いただけます

